

平成21(2009)年5月5日

社団法人日本ハング・パラグライディング連盟 平成21年役員選挙「立候補意思表明書」

氏名 城 涼一

(以下、本文です)

私が静岡県の伊豆で初飛行してから早くも21年が経過しました。  
その間多くの知人・友人の事故に心を痛めてきました。  
このスポーツで一番大切なのは「安全」であると実感しています。  
ですから、JHFの活動の中心は安全の確保にあるべきだと思います。

HG・PGの安全を確保するためには、教習、安全対策、競技を3本柱として同等に重視する必要があります。  
教習については、その内容・方法の充実を図る必要があります。  
安全については、適正な情報収集が、その対策のために不可欠です。  
競技では、世界の水準に遅れをとらぬように配慮が必要です。  
競技選手が得る知識と経験を、教習や安全対策を通じてフライヤー一般に還元することも期待できるからです。  
制度、法務そして安全性の各委員会の活動を経験し、また、平成17年から理事を務め、このような基本的な考え方がゆらぐことはありませんでした。

確かに、このような考えは理想であり、理想の実現は難しいことも、実感しています。  
しかし、JHFという組織の台所事情を把握できるようにはなってきましたので、  
少しでも理想に現実を近づけることはできると確信します。  
例えば、これまで入手できないと考えられていた情報を入手できるなら、これをJHF活動の様々な場面に活用できそうです。  
できることから足元を固めていきたいと思います。  
正会員の皆様のご支援を宜しくお願い致します。

以上